

# NPO法人 介護サービス非営利団体 ネットワークみやぎ



## ●2012 年度総会第 5 回理事会開催報告

2013 年 5 月 16 日（木）14 時から、フォレスト仙台 5 階 501 会議室において、第 5 回理事会が理事 9 人と監事 2 人の出席で開催されました。議決事項として 1. 2013 年度総会議案の確定（総会開催案内・決算・予算関係資料）、2. 2013 年度主要日程、3. 事務規程変更の件が提案され、議決されました。報告事項は 1. 実務担当者会議 2013 年度第 1 回・第 2 回開催案、2. 福祉サービスに関する苦情解決の第三者委員研修・情報交流会開催案、3. 「情報の公表」調査事業、4. 地域密着型サービス外部評価事業、6. 介護保険利用者負担減免延長を求める取り組み、7. 税金関係、5. その他として、東日本大震災復旧・復興支援みやぎ県民センターから依頼の「医療・介護の負担免除を復活するよう求める要望署名」に協力することを確認しました。

## ●2013 年度介護ネットみやぎ年間計画

	理事会	実務担当者会議	情報の公表 事業推進会議	「情報の公表」「外部評価」 調査員研修	総会
2013 年 5 月	5 月 16 日（木） 第 5 回（監査）	5 月 23 日（木） 第 1 回	5 月 29 日（水） 第 3 回		
6 月	6 月 13 日（木） 第 1 回			6 月 24 日（日）第 1 回 外部評価審査委員会	6 月 13 日（木） 総会
7 月		7 月 11 日（木）第 2 回 同日苦情解決第三者委員報告研修会		7 月 4 日（木） 第 1 回	
8 月					
9 月		9 月 12 日（木） 第 3 回			
10 月	10 月 9 日（水） 第 2 回				
11 月		11 月 14 日（木） 第 4 回	10 月 30 日（水） 第 1 回	11 月 7 日（木） 第 2 回	
12 月	12 月 11 日（水） 第 3 回				
2014 年 1 月					
2 月		2 月 13 日（木） 第 5 回			
3 月	3 月 12 日（水） 第 4 回		3 月 5 日（水） 第 2 回	3 月 13 日（木） 第 3 回	
4 月					
5 月	5 月 14 日（水） 第 5 回		3 月 28 日（水） 第 3 回		
6 月	6 月 11 日（水） 第 1 回 *仮				6 月 11 日（水） 総会 *仮

### 介護ネットみやぎの基本理念

私たちは、いつでも、だれでも安心して暮らせる社会をめざしています。介護が必要な人にとって、体のケアだけでなく、心のケアも念頭においた利用者本位のケアプランが作成され、安心して介護サービスを受けられることが最も大切です。私たちは知恵と力を合わせ、良質な介護サービス提供と健全な事業運営のためにいっそうの研修にはげむとともに情報を共有しネットワークをひろげ、もって要介護者と介護者の人権擁護（尊重）、地域住民の福祉向上に資することを目的とします。

**介護ネットみやぎ参加団体** 宮城県生活協同組合連合会・みやぎ生活協同組合・生活協同組合あいコープみやぎ・松島医療生活協同組合・全国労働者共済生活協同組合連合会宮城県本部・みやぎ県南医療生活協同組合・JA宮城中央会・財団法人宮城厚生協会・宮城県高齢者生活協同組合・社会福祉法人仙台ビーナス会・社会福祉法人こーぶ福祉会・公益社会福祉法人宮城厚生福祉会・特定非営利活動法人ゆうあんどあい・特定非営利活動法人WACまごころサービスみやぎ・特定非営利活動法人ひまわり・特定非営利活動法人ほっとあい・特定非営利活動法人グループゆう・協同組合日専連仙台・宮城県民主医療機関連合会・宮城県労働者福祉協議会・宮城県医連事業協同組合・社会福祉法人みんなの輪・企業組合労協センター事業団東北事業本部

## ●2013 年度第 1 回実務担当者会議拡大学習会開催報告

2013 年 5 月 23 日（木）14 時から、実務担当者を含め会員団体から 17 人と、介護サービス情報の公表調査員・地域密着型サービス外部評価調査員 23 人（事務局含む）が参加し、合計 40 人で拡大学習会を開催しました。

「介護保険制度改定の動向」と題し、講師に日本生協連福祉事業推進部部長山際淳さんをお迎えし、介護保険を取り巻く状況、2015 年介護保険制度改定論議、民間介護事業推進委員会及び生活協同組合の対応についてお話していただきました。

65 歳以上の高齢者数は、2025 年には 3,657 万人となり、2042 年にはピークを迎える予想（3,878 万人）です。また、75 歳以上の高齢者の全人口に占める割合は増加していき、2055 年には、25%（4 人に 1 人）を超える見込みとなり、高齢者人口に比例するように「認知症高齢者の日常生活自立度」Ⅱ以上の高齢者が増加していく予想が立てられています。一方、介護保険料は介護保険制度導入当初は全国平均 2,911 円だった

のに対し、第 5 期（2012 年～2014 年）では、4,972 円と跳ね上がり、通所介護費用の伸び率が大きい状況です。

2015 年の介護保険制度改定に向け、社会保障制度改革国民会議における介護部門の議論は十分とは言えない中で、介護サービスの重点化・効率化の方向に議論の整理がまとめられようとしています。

国が介護の将来像としている地域包括ケアシステムは、保険者である市町村や都道府県が、地域の自主性や主体性に基づき、地域の特性に応じてつくり上げていくことが求められ、自治体の力量が求められることから、今後多くの課題を残しそうです。



学習会の様子

## ●2013 年度第 1 回実務担当者会議開催報告

2013 年 5 月 23 日（木）15 時 40 分から 17 時まで、フォレスト仙台 5 階 501 会議室において、10 人の出席で開催しました。

野崎理事から、2013 年 6 月 13 日（木）に開催予定の総会に提案される 2012 年度事業報告（案）・2013 年度事業計画（案）、2012 年度総会第 5 回理事会にて議決承認された議案についての報告がありました。

その後の情報交流では、同日 14 時から行われた、2013 年度第 1 回実務担当者会議拡大学習のテーマ「介護保険制度改定の動向」の感想を含め、今年度各法人で取り組んでいくことや現状について交流しました。

「新聞報道などで、介護保険から要支援が外れるのではないかと等の内容が出されたが、本当のことなのかと訪問介護で利用者さん宅を訪れると最近はずいぶん言われる。」「施設を作っても利用者さんは来るが、介護の対応者がなかなか集まらず、困っている。」「定期巡回を実施しようと検討を始めたが、ヘルパーの問題もあり、人材不足に悩んでいる。」「認知症の発見は、早期発見対応が重要となるため、要支援も含めて訪問介護の生活支援は、早期発見に重要な意義がある。今後、要支援を介護保険から外すことになれば、軽度から中度への認知症患者が更に増える可能性がでてくる。」などの影響も報告されました。

今後も介護ネットみやぎの社会的活動として、「利用者の立場にたった介護保険制度の充実を求めて行くこと」を確認しました。

次回（2013 年度第 2 回）実務担当者会議について連絡があり、2013 年度第 1 回実務担当者会議を終了しました。

## ●いしのまき復興支援募金がこーぷ福祉会・松島医療生協に贈呈されました

2013年3月28日(木)に、こ〜ぷのお家いしのまきで、奈良県の社会福祉法人協同福祉会(市民生活協同組合ならこーぷが設立)が2月に「東日本大震災チャリティー 加藤登紀子コンサート」を主催し、得た収益金70万円を、石巻市で被災地支援を行っている社会福祉法人こーぷ福祉会と松島医療生活協同組合に、復興支援のために募金を贈呈する式がありました。

贈呈式には、村城正さん(協同福祉会理事長)、内館昭子さん(こーぷ福祉会理事長)、榎林由美子さん(松島医療生協石巻支部支部長代理)をはじめ、こ〜ぷのお家いしのまきデイサービスセンターの利用者、こ〜ぷ福祉さろんのボランティアの皆さんも参加されました。

募金は、こ〜ぷのお家いしのまきで月2回行っている仮設住宅にお住まいの高齢者を対象にした「福祉さろん」の取り組み等の石巻地域の復興支援のための活動に役立てられます。



## ●ご案内

### 総 会

日 時：2013年6月13日(木)  
13:30~16:00

場 所：フォレスト2F 第7会議室

内 容：

第一部 学習講演 13:30~14:40

「東日本震災から2年  
宮城県の復興の現状と課題」

講師 網島 不二雄さん

(東日本大震災復旧・  
復興支援みやぎ県民センター代表世話人)

小野 ともみさん

(社会福祉法人 宮城厚生福祉会理事長)

第二部 総 会 15:00~16:00

### 第三者委員拡大研修会

日 時：2012年7月11日(木)  
13:30~16:00

場 所：フォレスト5F 501会議室

講 演：(14:30~16:00)

「相談援助に当たる人のストレスマネジメント」

講師 加藤 伸司さん

(東北福祉大学総合福祉学部教授

認知症介護研究・研修仙台センター長)



● 介護ネットみやぎの地域密着型サービス外部評価事業のご案内

介護ネットみやぎ地域密着型サービス外部評価受審のご案内  
 —サービスの質の向上をめざす事業所を応援します—

<評価事業の実績について>

- 2003年宮城県モデル評価事業「訪問介護サービス評価」実施
- 2004年宮城県モデル評価事業「通所介護サービス評価」実施
- 2005年宮城県モデル評価事業「居宅介護支援サービス評価」実施
- 2006年から「介護サービス情報の公表」制度の指定調査機関として調査事業実施

<外部評価内容について>

2010年7月1日、宮城県より「宮城県地域密着型サービス外部評価機関」として選定されました。これまでに蓄積したノウハウを活かし、公正中立な立場できめ細かな評価を行います。

対象サービス ①認知症対応型共同生活介護 ②小規模多機能型居宅介護  
 対象区域 宮城県全域  
 評価手数料等

サービス種別及びユニット数	評価調査員数	訪問調査日数	手数料額	
認知症対応型 共同生活介護	1ユニット	2人	原則として1日	45,000円
	2ユニット	2人	原則として1日	60,000円
	3ユニット	3人	原則として1日	75,000円
	4ユニット	3人	原則として1日	90,000円
小規模多機能型居宅介護	2人	原則として1日	45,000円	

● 介護サービス情報の公表のホームページが新しくなりました！

情報の公表制度は、2012年度より制度の見直しが行われました。公表方法については利用者にとって活用しやすいものとなるよう、2012年10月より検索機能や画面方法が新しくなりました。

厚生労働省・各都道府県が運営しています

